

2009年11月12日
三井情報株式会社
(証券番号:2665 東証第二部)

三井情報、Windows Server 2008 R2 Hyper-V を活用した プライベートクラウド型「仮想化 IT 基盤」を提供 — 仮想化技術による物理サーバーの統合・集約でコスト削減 —

三井情報株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役社長:下牧 拓、以下:MKI)は、マイクロソフト株式会社(所在地:東京都渋谷区、代表取締役社長:樋口 泰行、以下:マイクロソフト)が提供する Windows Server 2008 R2 の仮想化技術 Hyper-V 2.0 を利用し、サーバーとストレージを組み合わせた「仮想化 IT 基盤」の提供を12月より順次開始します。

「仮想化 IT 基盤」は、すでに当社の親会社である三井物産株式会社(代表取締役社長:飯島 彰己、所在地:東京都千代田区、以下:三井物産)に向けて約1000台の物理サーバーを統合・集約する取組みを進めています。三井物産への導入は、Hyper-V 2.0 を採用した「仮想化 IT 基盤」としては国内最大規模(2009年10月時点)であり、同社はMKIが「仮想化 IT 基盤」を導入したファーストユーザーとなります。

今後は、三井物産への取組みで得る経験・実績を活用して「仮想化 IT 基盤」サービスメニューの拡充を行い、既存顧客への展開と、サーバーの集約で社内システムのコスト削減を目指す企業への提案活動に取組み、「仮想化 IT 基盤」をプラットフォームビジネスの中核とすることを目指します。

【 取組背景 】

市場の一部業種では経済環境の上向きの兆しが見られるものの、多くの企業では景気低迷の影響から、企業システムにおけるICT設備はコスト削減の必要に迫られています。

コスト削減の方策として、とりわけICTインフラを集約／統合させることへの注目度は大きく、サーバー仮想化ソリューション市場は急拡大を続けています。2007年時点で781億円であった同市場は、2008年には1,249億円にまで成長し、2013年までの年平均成長率は30.9%と予想されています(ミック経済研究所調べ)。

MKIでは、上記のようなインフラ設備へのコスト削減要求の高まりを受け、Hyper-V 2.0 を活用し、サーバーとストレージを組み合わせた「仮想化 IT 基盤」の提供を開始します。

MKIの提供する「仮想化 IT 基盤」の特徴としては下記があげられます。

- 仮想化技術により、サーバーの統合と集約が可能となり、システムのコスト削減が可能となる。
- 「仮想化 IT 基盤」をパッケージ化して提供することで、基本設計(サイジング)に要する時間の短縮と、管理・運用手法の一元管理が可能である。
- 「仮想化 IT 基盤」パッケージをラック単位で提供することにより、小規模かつ段階的な拡張が可能となり、精度の高い投資対効果の試算が可能となる。

本リリースにあたり、関係各社様よりコメントをいただいております。

「当社は、ビジネスの変化に迅速かつ柔軟に対応できる IT 基盤の実現を目指し、基幹システムから個別システムまで企業全体のサーバー群を計画的に仮想化するプロジェクトを進めています。MKI は当社の基幹システムの構築・運用を支えるパートナーとして、今回の仮想化基盤構築プロジェクトにおいてシステム設計という重要な役割を担っています。本プロジェクトは仮想化対象を順次広げていく予定であり、MKI のさらなる支援を期待します。」

三井物産株式会社 IT 推進部 情報通信基盤室 室長 清水 隆太郎様

「この度の三井情報株式会社様の「仮想化 IT 基盤」の発表おめでとうございます。

マイクロソフトは、三井情報株式会社様と共同で三井物産株式会社様におけるサーバー統合を、Windows Server 2008 R2 Hyper-V を活用し支援してまいりました。今回の「仮想化 IT 基盤」導入支援サービスは、同プロジェクトでの実績をベースに、お客様がサーバー統合に求める信頼性、柔軟性およびコストの削減を実現できるものと期待しております。今後も、弊社仮想化テクノロジーを軸とした三井情報様との緊密な協力関係のもと、お客様のビジネスの成長を最大限に支援するべく革新的なプラットフォームを提供していきます。」

マイクロソフト株式会社 業務執行役員 サーバープラットフォームビジネス本部 本部長 五十嵐 光喜様

以 上

【三井情報株式会社について】

三井情報株式会社は、お客様の ICT (Information and Communication Technology) 基盤の構築・運用を通じて、お客様の情報コミュニケーションを支えています。ICT インフラストラクチャからアプリケーションにわたり、コンサルティングから設計・構築、運用・保守を横断したシームレスなサービスをご提供しています。目まぐるしく変化するビジネス環境の中、MKI グループは常にお客様のニーズに応えることのできる高い機動性を持ち、お客様から「選ばれる企業」でありたいと考えています。

ホームページ: <http://www.mki.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

三井情報株式会社 経営企画部 コーポレート・マーケティング室 悴田(かせた)

TEL: 03-6376-1008、FAX: 03-3435-0520、e-mail: press@ml.mki.co.jp

※三井情報、MKI 及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。

※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

(参考資料)

1. 【 MKI 仮想化 IT 基盤 概要 】

従来の企業 ICT インフラでは、システム毎に拡張性を考慮した設計・構築が必要となり、構築期毎に大きな投資が必要となります。また、構築期毎に機器構成や利用するツールが異なる場合もあり、運用方法を統一できない状態が発生し、投資額に応じた効果を十分に得られない場合も生じています。

MKI では、基本設計に要する時間とコストを抑制する、システムの拡張性に優れた新しい企業 ICT インフラとして、Hyper-V2.0 とサーバーとストレージを組み合わせた「仮想化 IT 基盤」を提供します。

■ MKI 「仮想化 IT 基盤」 特徴

特徴	効果
(1) Microsoft Hyper-V2.0 を採用	■ 企業インフラ標準である Windows Server 技術での仮想化技術を利用
(2) ラック単位とし基本機能を提供	■ 基本設計(サイジング)に要する時間を短縮 ■ 管理・運用手法の一元管理が可能 ■ 投資対効果の試算が明確 ■ 小規模に段階的な拡張が可能
(3) ストレージの分散配置、iSCSI の採用	■ ラック単位での仮想化 IT 基盤の増設が可能 ■ エントリーモデルストレージを有効活用することで、システムコストの抑制が可能
(4) セキュアな運用管理・監視基盤	■ 独自開発した、品質測定・分析ツールの適用により、システム状況の可視化と、品質維持が可能

2. 【 MKI 「仮想化 IT 基盤」 提供方法 】

① お客様所有型プラン

お客様要望に基づく専用の仮想化 IT 基盤を、お客様指定の環境内に構築します。お客様専用の仮想化 IT 基盤ではありますが、ラック単位とし提供することで、短納期での導入を可能とします。

また、MKI が運用・保守サービスを提供することもでき、お客様での仮想化技術者の確保、育成が不要となります。

② サービス提供プラン

当社グループ会社でデータセンター事業を展開するMKIネットワーク・ソリューションズ株式会社(所在地:東京都中野区、代表取締役:土肥 茂、以下:MKInet)内に仮想化 IT 基盤を用意し、MKInet が運用・監視サービスを提供します。

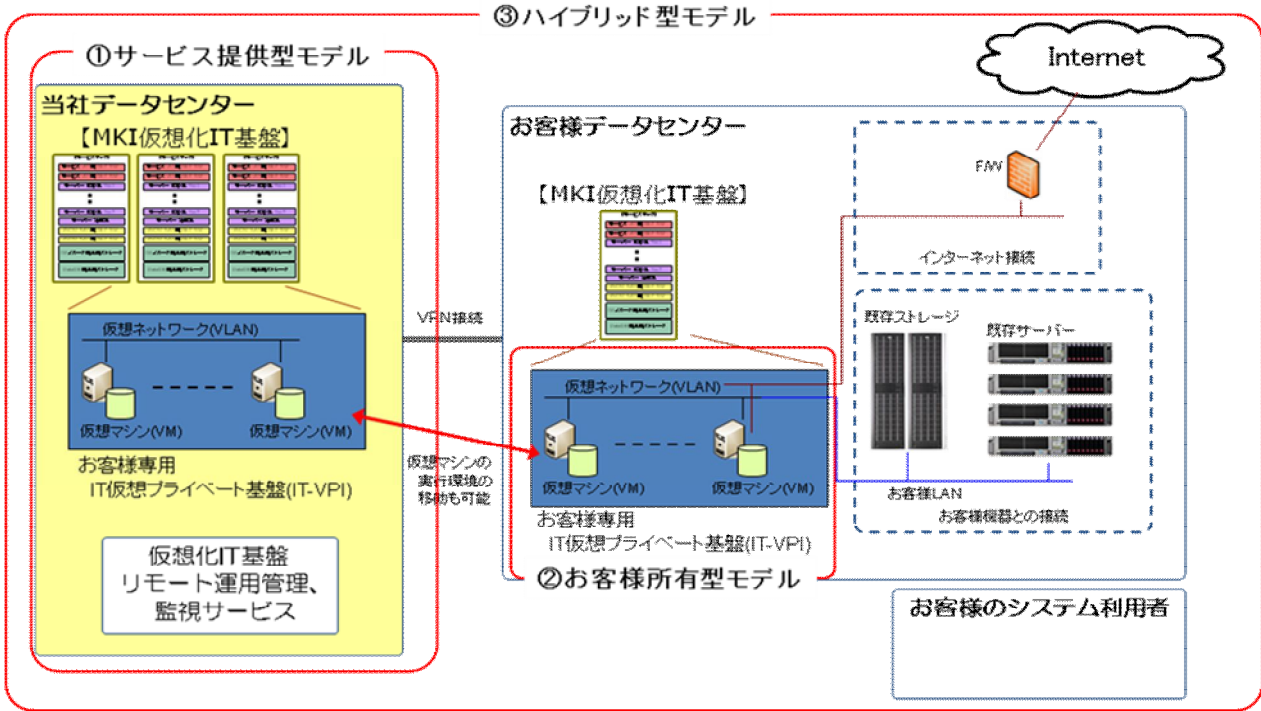
現在パイロット基盤での運用を開始しており、順次本格サービスとして提供を開始いたします。

本サービスは、月額料金による提供が可能となります。

③ ハイブリッド型プラン

上記、①及び②、2つのサービスモデルを併用した形でサービスを提供いたします。

本番系システムをお客様所有プランとし、開発・検証環境はサービス提供プランを利用することで、ITリソースの恒常的な利用はお客様所有、期間限定な場合はサービス利用とする運用が可能です。



以 上